



## 判断力について②

「由布川っ子」22号で判断力の話をしました。今回はその続きです。自分の判断で行動するには、行動の理由を問うていくことが大切になります。なぜその行動をしたのか問うことなしに、頭ごなしに怒られると納得できないことになりかねません。私たちは常に、子どもの行動の背景を知る努力が必要になると思います。

この原稿をかいているたった今、休み時間となり廊下を走っている子どもを見かけました。早速呼び止め理由を聞くと「遊び場を確保したいから」とのことでした。それは、そうでしょう。私は、「気持ちはわかるけど、歩いて行ったほうがいいね。だって、廊下を走ると、友だちとぶつかってけがをしたり、させたりするかもしれないし。」という、納得して歩いていきました。このことは根気強く何度も言うしかありません。

私たち大人も、いろんな判断をし、中には間違えることもあると思います。そんな時、同じ過ちを繰り返さないよう、なぜそんな判断をしたのか、冷静に振り返る必要があると感じました。

## カギの落としもの 2つ

今年度はカギの落とし物が非常に多いなと思います。現時点で、運動場に2つありましたので、ご紹介します。もし、お心当たりお方がいましたら職員室までご連絡願います。



## 今になってコロナウイルス

メールでもお伝えしましたが、コロナウイルスの感染者が増えています。月曜日段階で16名です。ただ、先週学級閉鎖した4-1がほとんどで、ほかのクラスは2名のみとなっています。感染力は相変わらず強そうで、感染が広がりそうな時（早退者が出た場合など）はすぐにクラス全体にマスクをさせるようにしています。

今一度、コロナの時の対応を確認しますと、5類になり、インフルエンザなどと同じで発症した日（発熱等）を0日として、5日間出席停止になります。また、家族間で感染者がいても、感染者以外の子どもは、基本的に元気ならば登校してよいことになります。

しかしながら本校では、感染者との接触が濃い場合は、感染者の発症日から3日間程度様子を見てもらうことをお願いしています。（強制ではありません・期間はその時の事情で変わります）その根拠は、発症の前後2日間に感染することが多いからです。家族に感染者が出た場合もご相談に乗りますので、ご連絡をお願いします。

コロナウイルスに罹った方の症状は人によって異なり、非常に軽い方もいれば、途中から症状が重くなる例もありますので注意が必要です。

## 教育実習生来校

今年度も3年生に、教育実習生が入りました。

実習生は本校卒業生の安東夢羽菜（あんどうゆうな）さんです。よろしくお願ひします。3年2組を中心に入りますが、全校の子どもたちとも触れ合うことになると思います。

